

# The METRO REPORT

ニュースレター-2024年1月号

メトロ・ワールド・チャイルド・ジャパン 東京都中央区銀座5-14-6 橋ビルII 7F TFC内

## あけましておめでとうございます！



### 497,631 人の子どもたちに、 キリストにある希望を届けることができました！

私たちの昨年のテーマ聖句は、イザヤ書 54 章 2 節の「あなたの天幕の場所を広げ、あなたの住まいの幕を惜しみなく張り伸ばし、綱を長くし、鉄のくいを強固にせよ」でしたが、主は、まさにその通りのことを実現してくださいました。

メトロの働きは世界各地に拡大し続け、毎週のメトロの教会学校に参加する子どもの数は、この一年で、30万人台から、最終的には50万人を超えるまでになりました。神様が驚くべき方法で、次々と新しい扉を開き、思いもよらないチャンスを与え、福音のために労を惜しまず、命を惜しまないスタッフの献身的な働きにより、そのチャンスをとことく形にすることができました。

この働きを祈りとご支援により陰で支えてくださった皆様に心から感謝申し上げます。皆様のご支援は、現地のスタッフを通して確実に子どもたちに伝えられます。あなたも働き人の一人であることをぜひ覚えてください。皆様のご支援がなければ、この働きはすぐに行き詰ってしまうことを私は長年の経験を通して知っています。私がどれほど感謝しているかをうまく伝わりますようにと願います。



*Bill*  
ビル・ウィルソン

### スポンサー&献金受付中

常に受け付けておりますので、HP をご確認ください。

### 今月の引き落とし日！

1月29日(月)です。

### 今月号の目次

P2~3...世界各地の支援状況

P3~5...ガザ地区からの状況報告

P6...日本事務所からの重要なお知らせ

【\*お願い】ご住所を変更された方は、日本事務所までご連絡ください。(自動転送されません) 連絡先は最終ページでご確認ください。

# 2023年、綱は長くされ、くいは強固にされました



あなたの祈りと変わらぬご支援は、世界中の子どもたちの人生を永遠に変えています。

2023年に神は私たちが行くべき新しい道への扉を開き、飢えとイエスの愛を知ることが困難な状況にある何千人もの子どもたちに出会う恵みを与えてくださいました。



## あなたが起こして下さった 変化の証しをご覧ください。



### インド(53,669人)

#### 暗闇の中の光

インドではクリスチャンへの迫害が厳しく、しばしば暴力的にもなっています。しかし、神は扉を開き、「赤線」地区の働きでさえメトロのスタッフと子どもたちを守ってくださいました。私たちは、僻地に住む、より多くの子どもたちに手を差し伸べるために拡大を続けています。

### ネパール(1,812人)

#### イエス様への飢え渇き

この厳格なヒンズー教国で、イエス様を知りたいと切望する子どもや家族が増え続けています。地域の教会も、より多くのネパールの子どものためにメトロの訓練を受けたいと申し出てきています。

### ペルー(8,549人)

#### より良い未来

メトロは、学校や教会での活動を通じて、ペルーの子どもたちにイエス様の福音を伝えています。国家の政治的、経済的不安定のため、多くの子どもたちは、将来に不安を

感じています。彼らの将来のカギを握るのが誰なのかを知る必要があるのです。

### フィリピン(16,793人)

#### 自由な活動再開

長期にわたるロックダウンがようやく解除され、私たちはマニラ周辺のスラム街や墓地、ゴミ捨て場で子どもたちに自由に教会学校を行うことができるようになりました。この子どもたちは、貧困者の中でも最下層の人々です。宗教が異なる家族もありますが、多くの家族は子どもたちをメトロの教会学校に出席させ、イエス様について学ぶことを容認しています。

### ハイチ

#### 命を懸けて

ハイチには政府が確立されておらず、実質的には、ギャングが支配しています。メトロのスタッフは、毎日命の危険に直面していますが、子どもたちの必要を満たし、彼らを愛して下さる神様について学べるように粘り強く取り組んでいます。子どもたちは葛藤の中でも力強く折ることを学んでいます。

### ルーマニア

#### 温かい足と開かれた心

ルーマニアの人々は、長い間流浪状態に置かれ、軽蔑されてきました。何世代にもわたる極度の貧困により、ルーマニアの子どもたちは、別の人生があるなどとは思っていません。メトロは、彼らにイエス様の希望を伝え、厳しい冬に備えて暖かく防水性のあるブーツや帽子、マフラー、靴下などの必需品を提供しています。

### アフリカ



### ケニア(210,216人)

#### 数十万人に関わる

ナクルや国内の全域では、ほとんどの人々が神の真理と福音を信じています。メトロは、彼らにイエス様について教えるだけでなく、地域の学校システムを通じてスポンサーによる給食プログラムを提供し、学期中は、少なくとも1日に1食は栄養価の高い給食を食べられるようにしています。最近、イエス様について学びたいので、友だちと一緒に今の学校からメトロの日曜学校が開催されている学校に転校させてほしいと両親に訴えた3人の

子どもたちがいるという報告を受けました。

### 南アフリカ

#### 急成長!!

ケープタウンとヨハネスブルグのメトロの拠点では、深刻な貧困と激しいギャングの暴力と銃撃の中で育つ子どもたちに教会学校を開催しています。メトロのスタッフは、学校や道端でイエス様の希望と愛を伝えながら、彼らに食料などの必需品を提供しています。

### タンザニア(38,480人)

#### 驚くべき拡大

昨年、タンザニアでの門戸が開かれ、メトロの教会学校が、全国53の学校で開催されるようになりました。メトロのスタッフは、イエス様についてもっと知りたいと切望している子どもたちに福音のメッセージを伝えます。

### 南スーダン(29,344人)

#### 希望の再構築

メトロでは、南スーダンの再建を担う世代に援助できる素晴らしい機会に恵まれています。この国は依然として内戦と筆舌に尽くしがたい闘争の傷跡に苦しんでいますが、子どもたちは、神様を知ることによって飢え渇いていま



す。メトロは、全国の多くの学校で活動しています。

## 新しい地！

### ルワンダ

神は道を造られた

1990年代の大量虐殺の影響がいまだに続くこのアフリカの内陸国で、メトロは多くの困難を乗り越えて、ついに、19の学校で教会学校を始めることができました。子どもたちは、平和と希望、そしてイエス様の愛のメッセージに喜んで反応しています。

### ザンビア

働き確かな拡大

昨年、メトロはザンビアの21の学校で教会学校を開催できるほど拡大しました。子どもたちはメトロの教会学校が大好きで、多くの子どもたちが、メトロのスタッフが毎週教えている真理を実践しようとしてくれます。ここでは多くの家族が貧困に苦しんでいます。

## アメリカ合衆国

### ニューヨーク



街中に拡大しています

昨年は、ニューヨークの5つの行政区すべてで、目覚ましい成長が見られました。ブロンクス、クイーンズ、マンハッタン、ブルックリン、スタテンアイランドで定期的に開催している道端教会学校に多くの新しい子どもたちが参加するようになりました。

今年できた新しい拠点の1つは、クイーンズの学校の外にあります。校長が、学校のすぐ側でメトロの教会学校を始めたいと個人的に申し出てくれたのです。彼女

は、子どもの頃メトロに通っていて、学校の子どもたちにとって福音がどうしても必要であることを理解しています。

また、別の新しい場所で、20年以上前にメトロに通っていた地域の指導者に会いました。昔、暗唱聖句大会で獲得したベースボールカードを今でも持っていました。

あなたの愛によって

昨年、あなたは何百人ものニューヨークの子どもたちが都会の騒音と危険から逃れてサマーキャンプの喜びを体験できるようご支援くださいました。そして、感謝すべきことに、参加者のほぼ全員がイエス様を救い主として受け入れたのです。

また、新年度が始まる時期には、362人の子どもたちが聖書やデポジションブックが入ったブックバッグを受け取りました。

そして、この街の2,000を超える家族が、メトロのラブボックスと感謝祭の活動を通じて、皆さんのご支援により祝福をいただくことができました。

### ニューヨークの人々

新たなチャンス！

興味深いことに、今年は、新しい子どもたちがメトロの日曜学校に続々と参加してきました。違っているのは、彼らのほとんどがスペイン語しか話せないことです。彼らは南の国境を越えてここにやって来ました。彼らがメトロに参加している間、私たちは、イエス様を伝えるためにできる限りの努力をしています。(近いうちに詳細をお伝えします。)

イエス様の愛を世界中の子どもたちに届けてくれてありがとうございます！

各国の参加人数は、昨年11月末のもので、現在はさらに参加者が増えています。

2024年の計画の詳細もまもなくお伝えします！

# ビル師より

ビル・ウィルソン師のフェイスブックや、万代牧師のメッセージですでにご存知の方々もいらっしやと思いますが、ガザ地区での支援状況についてビル師の投稿記事からお伝えします。

## 12月3日の出来事！

誰かが亡くなる直前に、その人の最期の言葉を聞けば、きっとその言葉を生涯忘れないことでしょう。12月2日(土)の朝、パレスチナ人スタッフのハンは、ガザで地区のボランティアのお母さんの最期の言葉を聞きました。その朝、バンクーバーへのフライトに向かう直前の私に、イスラエル人スタッフのアンドリューから電話がありました。彼は激しく泣いていました。ボランティアのお母さんたちのひとりで、子どもたちの食料を守ろうとしたレナが、ハマスの兵士に胸を撃たれて亡くなったのです。ハンは、何とかレナを助けようとしたのですが、彼女はハンに、「イエス様が助け手を必要としているから、今からイエス様のお手伝いをしに天国に行ってきます」と言い残し、それが彼女の最期の言葉となりました。わずか3週間前、レナは私たちの日曜学校でイエス様を救い主として受け入れ、すぐに私たちのチームを助け始めました。世界中の子どもたちだけでなく、その両親や周りにいる大人たちがメトロの日曜学校でイエス様を信じるのは、よくあることです。

私は、それが非常に厳しい週末になることを知っていたので、皆様に祈りをお願いしながらも、大きなストレスを抱え、明日の日曜日のメトロの教会学校をまだやるつもりなのか尋ねました。彼らは答えました。「もちろんです、ビル先生。明日は、私たちのクリスマスメッセージの日ですから。やらなければなりません」。皆さんがどう思われるかわかりませんが、私には、その気持ちがよくわかります。だから、あなたのご支援と祈りに感謝します。今日、天国にはパレスチナ人の女性がいて、明日は、ガザでクリスマスの物語が語られます。

また、多くの方々からメアリーについての問い合わせをいただいています。実は、彼女の足の感染症はかなり悪い状態です。ハンが包帯が手に入らないので、ベッドのシーツを切り取って包帯代わりにしています。アンドリューは昨日、食物と水とともに国境を越えて抗生物質を届けました。

今週のニューヨークの日曜学校のチームは、クリスマスの本当の意味を教えてきました。私たちは参加したすべての子どもにもクリスマスプレゼントを渡してきましたが、子どもも親も大喜びでした。クリスマスの意味を知らない人々がいることを知ってください。キリストの愛や福音を誰かに話す機会がある時、それを決して軽々しく考えないでください。レナのよう、それが最後のチャンスかもしれないからです。だから、彼女が今、天の父なる神様の御国にいることを感謝します。

私がバンクーバーの教会で3日の聖日礼拝のメッセージを終えた後、ガザから報告が入りました。彼らは、ガザでの日曜学校を無事に終え、その時ハマスは現れませんでした。子どもたちと親たち全員に十分な量のパンと水を渡すことができました。そして、メトロのチームは、イエス様が私たちのために十字架で死なれたことをパレスチナ人の子どもと両親、

871人に語りました。最後に、彼らの半数がイエス様を救い主として受け入れると手を挙げたのです。素晴らしい奇跡でした。

ハン、手作りの大きな木の十字架とイラストで一生懸命メッセージを語っていました。しかし、突然、彼は8人のイスラエル兵が自分の後ろに立っていることに気づきました。兵士は、爆破された2棟のビルの上に日曜学校の子どもたちが集まっているのを見つけたのです。その8人のパトロール兵の中の司令官が、ハンのもとに来て言いました。「あなたたちは、ここですべきことをやっただけです。ここで何も起こりませんでした。私たちはあなたたちの護衛をします」。イエス様の話を聞くために、日曜学校に来たパレスチナ人の小さな子どもたちの集団が、イスラエルの兵士たちに守られていたのです。想像するのは難しいですか？ そう思います。

日曜学校の後、ボランティアのお母さんたちがパンと水を配っていました。クリスマスです。何も言われぬのに、数人のお母さんがその8人のイスラエル兵に残りのパンを与え始めました。メアリーはずっとハンと母親と一緒に座っていました。彼女はパンを受け取り、少しだけ食べ始めました。ここ数日、少し食べるようになりましたが、まだ非常に弱っています。メアリーは、ハンのお母さんが兵士にパンを配るのを見て、ハンのお母さんの手を取り、兵士の一人のところまで連れて行ってもらいました。その兵士のズボンの裾を引っ張って、兵士が彼女を見ると、小さな手で、パンの半分を彼にあげました。兵士はそれを受け取り、彼女の頭をなでて、背を向けました。涙を浮かべていたのです。兵士が戦争で泣くことは許されないからです。そんなことができますか。小さくておとなしいメアリーは、自分のやり方でありがとうを伝えたかったのです。

日曜学校の後、500人近くの子どもと両親が、先週ハマスに射殺されたボランティアのレナを葬りました。日曜学校をやった場所の隣にある爆破された建物の空き地に、前日墓穴を掘りました。皆その周りに立っていました。スタッフは、レナの埋葬に必要な物を持ち合わせていませんでしたが、ひとりの小さな男の子が、小さな紙の上に鉛筆で花の絵を描いて、レナの墓の上に置きました。子どもたちは皆で、日曜学校で教



えてもらったアメージンググレイスを歌い始めました。ガザでそれが歌われるとは、驚くべきことです。彼らがレナを埋葬した後、ハンはその墓の上の方に穴を掘り、日曜学校で使った十字架を立ててハンマーで打ち、岩で固定しました。

葬儀が終わって立ち去ろうとした時、イスラエルの司令官がハンのもとに来て、「シャローム(平安があるように)」と言いました。そして、ハンも、「あなたの上にも平安があるように」と言い、二人は立ち去りました。

私は、この出来事をすべてお伝えしたいのです。ニュースやその他のメディアがこのような出来事を伝えることはないでしょう。3日の日曜日に何が起こったのかを私が聞いて、このすべてが本当に意味あることだと思っています。私が知っている確かなことは、あなたの祈りとご支援が、このクリスマスの奇跡を起こしたということです。十分に伝わったでしょうか？ だから、あなたに、感謝します。

### メアリーのために命を懸けて

17日の午後、アンドリューとハンとハンのお母さんとメアリーは、ガザの病院の待合室にいました。彼女の肺炎と、重度の足の傷はまだ癒されていません。彼女はとても弱っています。私は抗生物質を手に入れるためにあらゆる方法を試しましたが、まだできません。今は寒さも募っています。ハンと彼女の家の窓はほとんどすべて壊れているので、風が吹き曝し状態です。ここ数日雨が降っていたので、さらに寒いでしょう。

アンドリューは、イスラエルからメアリーとハンとハンのお母さんのために、食べ物、水、アスピリンを2つのバッグに詰めて持って行きました。彼は、ハンとハンのお母さんと同じように、メアリーを助けるために命を危険にさらしています。私はこれほど献身的な青年を見たことがありません。

ハンと彼の家族は、メアリーを自分の責任として引き受けました。私たちは皆、この小さな女の子を生き延びさせようとしていましたが、ガザには薬はありません。イスラエル側の薬でさえも乏しくなっています。

アンドリューによると、人々がこの病院の待合室にすし詰め状態で、その中の何人かの男が、彼らが食べ物を持っているの

を見つけて、その食べ物と交換するためにメアリーを人質にしようとして襲ってきたそうです。ハンのお母さんがナイフで、その男の肩を刺したので、メアリーを放しました。病院の警備員が騒音を聞いて走って来たので、アンドリューは、イスラエルから持ってきた食料を渡して彼らを黙らせなければなりませんでした。制御不能状態です。

メアリーは助けを求めて泣くことさえできませんでした。かろうじて呼吸している様子で、非常に危険な状態です。アンドリューとハンは壊れた本棚を動かして、囲いを作り、一晩中順番に見張っています。アンドリューは、彼らに毛布をもらうために病院にお金を支払いました。

アンドリューが何を考えていたのかわかりません。いつもは、食物と水を国境まで持って行って、それをハンと他のボランティアに渡していました。しかし、彼は状況が変わったことを知っていました。彼は自分が行かなければならないと思ったのです。彼はイスラエル人です。ガザに行きますか？ 行ったとしても、何ができますか？ しかし、彼はそうしたのです。アンドリューは、メアリーとハンを家族を放っておくことができなかつたと言いました。それで、彼は自分の命を危険にさらしたのです。だから、彼らのために祈ってください。ここ数日が山場です。少なくとも、お母さんとメアリーは、毛布で暖かくなったでしょう。

### すべてはイエス様の愛を伝えるために



私は、20日にガザに行くことにしました。メアリーにプレゼントする服も買いました。マイアミで乗り換えてテルアビブに飛ぼうとしていた時にアンドリューから電話がかかってきました。私は、空港の外を歩いていましたが、そこに座り込んでしまいました。何をすべきか、何を言うべきかわかりませんでした。皆が、薬と食べ物を手に入れようと最善を尽くしました。しかし、遅すぎました。

今朝早く、メアリーが咳をしていたので、ハンのお母さんは水

を飲ませようとしていました。私がメアリーを見つけて以来、彼女は人とあまり話しませんでした。私は、ハンのお母さんに、イエス様が彼女をとっても愛していることを繰り返し伝えるようお願いしていました。メアリーは何も言わずに、ただうなずいていました。今朝、彼女が咳をしていたので、ハンのお母さんは水を飲ませようとして彼女に言いました、「かわいい子、イエス様はあなたを愛していますよ」。

するとメアリーは、初めてハンのお母さんを見て、こう言ったのです。「イエス様が私を愛していることを知ってる。イエス様は、私がイエス様を愛していることを知ってるし、私の名前を知ってるよ」。そう言って、彼女は頭をハンのお母さんの肩にもたれて、静かに亡くなりました。

それで、私はまだアメリカにいます。なぜなら、私はチームのために、次の計画を立てる必要があるからです。危険すぎるので、彼らをそこから移動させなければなりません。

数週間前にガザで小さなレンガに座っているメアリーを見つけた時、彼女を見つけた理由があるはずだと思いました。他の誰も彼女を見つけれなかったのに、私が見つけたのです。私は今、その理由がわかりました。

彼女はイエス様の話を聞いたことがありませんでした。彼女は日曜学校に来て、イエス様が十字架上で彼女のために何をしたのかというお話を聞きました。彼女はイエス様にお祈りしました。イエス様が彼女を愛し、彼女の名前を知っていることを知りました。そして今、彼女の名前は天国のいのちの書に書かれています。彼女は私の小さな子羊でした。多くの方々も同じように感じていることでしょう。

彼女は今、イエス様の腕の中にいます。だから私は、永遠に感謝します。そして、メロのチームと私自身を助けてくれた皆さんにとっても感謝しています。私たちは皆、最善を尽くして努力しました。あなたのすべての助けと祈りに感謝します。私たちは、あなたなしではここまですることはできませんでした。みなさんを愛しています。それを知っていただきたいのです。そして彼女は、あなたも彼女を愛していることを知っていました。



このクリスマスがメアリーとレナにとって違うことを知ってください。彼らは天国の家にいます。彼らはすでに天国です。そして、私は新しい年が、私たち全員にとって違った年となることを願っています。イエスの御名によって。

メリークリスマス。

*Bill*  
ビル・ウィルソン

# 日本事務所からの重要なお知らせとお願い

## 支援は続いています！

メトロ・ワールド・チャイルドでは、ガザ地区だけでなく、ウクライナ市民支援もトルコ・シリア地震の復興支援も継続中です。支援献金も引き続き受け付けていますので、よろしくお願いたします。

どのような支援も、現地に直接の知り合いや支援者、メトロのスタッフがなければ、実現することは困難です。

いつもそこにて活動を続けているメトロならではの機動力と人間関係が、最終的に支援を必要としている人々に届くために必要なのです。

各働きへのご支援は、下記アドレスまたは、右のQRコードからお願いします。

<https://metroworldchild.jp/offering/>



## ！ 違いを生み出す月曜日！

メトロの働きは各国で急激に拡大し、サポートの必要な子どもの数は、飛躍的に増えています。新規スポンサーを常時募集していますので、よろしくお願いたします。コロナや戦争で、貧困地域の状況は悪化し続けており、ケニアでは、以前から食事をまともに食べることができない子どもがたくさんいましたが、今はさらに深刻な状況です。現地を訪問した若いスタッフは、その悲惨さを目撃して、「違いを生み出す月曜日」のキャンペーンを発案。一人でも多くの子どもにスポンサーを見つけようと努力しています。どうぞ、身近な方々にメトロをご紹介ください。

メトロ紹介&申込サイト⇒

<https://metroworldchild.jp/metrogenerallp/>



## 2024年のキャンペーン！

今年も、1年を通じて様々な企画を行いますので、どうぞご計画に入れてください。

2月:アメリカイスター(3月初旬締切)

4月:フィリピンツアー(4月初旬で調整中)  
アメリカキャンプ支援(5月下旬締切)  
フィリピン学用品支援(確認中)

5月:フィリピンキャンプ支援(5月末締切)

6月:アメリカ学用品支援(7月初旬締切)

7月:ケニアキャンプ支援(8月下旬締切)

8月:ケニアクリスマス支援(9月初旬締切)

9月:アメリカ感謝祭(10月初旬締切)

10月:ケニア就学支援(11月下旬締切)  
フィリピン&アメリカ・クリスマス(11月締切)

11月:OHH(参加者全員へのクリスマスプレゼント)

\*誕生日は、レポートに個別にご案内を入れます。

## 日本事務所よりごあいさつ！

あけましておめでとうございます。

昨年は、長いメトロの働きの歴史の中でも、大きな飛躍の年となりました。新しい地域や国での活動が次々と開始され、迫害のある国でさえ、門戸は開かれています。皆様のご支援とお祈りに心から感謝申し上げます。

記事の中でも触れましたが、各国のメトロスタッフは、文字通り福音のために命を懸けて働きを進めています。どうか、スタッフと子どもたち、その家族の安全が主によって守られ、さらに働きが拡大するように、支援者もさらに増えますようにお祈りください。

スポンサーの皆様にとりましても、昨年は厳しい年だったかもしれませんが、その中でもご支援を続けてくださったことに心からお礼申し上げます。

この一年、皆様の上にも主イエスの祝福と恵みがあふれますようお祈り申し上げます。

日本事務所代表 万代栄嗣(まんたい えいじ)



## メトロ・ワールド・チャイルド日本事務所

所在地 〒104-0061

東京都中央区銀座5-14-6

橋ビルII 7階 TFC内

電話 03-6264-7370 (松山事務所 089-992-9020)

FAX 089-925-1501

メール metrojapan@mission.or.jp

URL <https://metroworldchild.jp/>



すべてのお振り込みは、下記宛にお願いいたします。

ゆうちょ銀行：一六九店 当座預金 0041610

郵便局：記号番号 01650-3-41610

口座名義はどちらも同じ

メトロ・ワールド・チャイルド・ジャパン